

令和7年

健康福祉委員会

12月11日

豊明市議会

健康福祉委員会会議録

令和7年12月11日

午前10時00分 開会

午前11時52分 閉会

1. 出席委員

委員長	岡島 ゆみこ	副委員長	中堀 りゅういち
委員	鵜飼 貞雄	委員	服部 龍一
委員	林 ゆきひろ	委員	堀内 ちほ
委員	清水 義昭		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	加藤 健治	議事課長	深草 広治
庶務担当係長	大石 明美	議事担当係長	矢野 佑輔

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮 正典	副市長	小串 真美
健康福祉部長	塚本 由佳	地域福祉課長	小野寺 良夫
長寿課長	今枝 翼	健康推進課長	川原 静恵
こども保育課長	小川 正寿	指導保育士	柴田 美由紀
指導保育士	鈴木 祐見	保険医療課長	近藤 有紀子
子育て支援課長	松村 清子	教育部長	浅井 俊一
学校教育課長	秋永 亘正		

5. 傍聴議員

青木 けんじ	鈴木 智和	浅井 たかお	こんどう のぶお
いとう ひろし	武谷 としお	郷右近 修	毛 受 明 宏
三浦 桂司	一色 美智子	ふじえ 真理子	近藤 ひろひで

6. 傍聴者

1名

午前10時開会

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） おはようございます。

定刻に御参集いただき、ありがとうございます。ただいまより健康福祉委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、市長より挨拶をお願いいたします。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） 皆様、おはようございます。

本日の健康福祉委員会に付託されました案件は4つの議案でございます。慎重なる審査をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上、終わります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ありがとうございます。

これより会議を開きます。

お諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 御異議なしと認めます。よって、市長は退席をお願いいたします。

なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には出席をいただきますので、御承知をお願いいたします。

（市長退席をなす）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員会において一般傍聴者の入室を許可いたします。

本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配付いたしました議題に従い、会議を進めます。

なお、当局におかれましては、反問権を行使される場合は意思表示を明確にされ、論点を整理して反問されますようお願いいたします。また、反問を終了するときも、意思表示を明確にされるようお願いいたします。

初めに、議案第89号 令和7年度豊明市一般会計補正予算（第6号）についてのうち、本委員会所管部分についてを議題といたします。

本案件について、理事者の説明を求めます。

小野寺地域福祉課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 議案第89号 令和7年度豊明市一般会計補正予算（第6号）に係る本委員会所管分のうち、地域福祉課分を御説明します。

最初に、歳出予算の主なものを御説明します。

補正予算書は14ページをお開きください。

3款1項3目 心身障害者福祉費の右側の欄、2番目に記載の2、心身障害児者扶助事業は、訓練等給付費など各扶助費について、今後の執行見込額を勘案して3億139万8,000円を増額しようとするものであります。

16ページをお開きください。

3款3項2目 扶助費の右側の欄、一番上に記載の1、扶助事業は、生活保護費のうち医療扶助費を、今後の執行見込額を勘案して1億円を増額しようとするものであります。

続きまして、歳入予算の主なものを御説明します。

補正予算書は6ページをお開きください。

14款1項1目 民生費国庫負担金の右側の欄、一番上に記載の1、心身障害者福祉費負担金1億4,745万6,000円、並びに次ページ、7ページに記載の14款2項2目 民生費国庫補助金の右側の欄、3番目に記載の2、心身障害者福祉費補助金194万5,000円は、歳出で御説明いたしました14ページに記載の心身障害児者扶助事業に係る国からの財源手当となります。

また、7ページの最下段、15款1項1目 民生費県負担金の右側の欄、一番上に記載の2、心身障害者福祉費負担金7,372万9,000円、並びに、次のページ、8ページの中段、15款2項2目 民生費県補助金の右側の欄、2番目に記載の3、心身障害者福祉費補助金97万2,000円は、先ほど申し上げた心身障害児者扶助事業に係る県からの財源手当となります。

再度、6ページをお開きください。

14款1項1目 民生費国庫負担金の右側の欄、一番下に記載の4、生活保護費負担金7,500万円は、歳出で御説明いたしました生活保護費の医療扶助に係る経費の国からの財源手当となります。

以上で説明を終わります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 今枝長寿課長。

○長寿課長（今枝 翼君） それでは、長寿課所管分の補正予算について御説明いたします。

歳出から説明しますので、13ページをお願いいたします。

下の表の2段目、3款1項2目 老人福祉費の事業3、老人扶助事業、説明欄、老人保護措置費381万4,000円の増額、及びその下、難聴高齢者補聴器購入助成費65万5,000円の増額は、それぞれ対象者や申請の増加に伴うものです。

その下、事業5、地域介護予防活動支援事業37万8,000円の増額は、人事院勧告に基づく職員の給与改定に合わせて、会計年度任用職員の報酬等を今年4月に遡及して改定することによるものでございます。なお、そのほかの各事業の会計年度任用職員の報酬等増額についても、同様の理由によるものでございます。

続きまして、一番下の事業8、介護保険特別会計繰出事業2,152万5,000円の増額は、介護保険特別会計の給付費等の補正増額に伴う繰出金の増額分でございます。

歳入の主なものを御説明しますので、9ページをお願いいたします。

下の表、18款2項1目 介護保険特別会計繰入金27万6,000円の増額は、地域介護予防活動支援事業及び生活支援体制整備事業の財源の介護保険料相当分として、介護保険特別会計から繰り入れるものでございます。

以上で説明を終わります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 近藤保険医療課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） それでは、保険医療課所管分について御説明いたします。

まず、主な歳出から御説明いたしますので、補正予算書14ページを御覧ください。

一番下、5目 後期高齢者医療費、説明欄の一番上、後期高齢者医療療養給付費負担金で1,335万5,000円の増額につきましては、後期高齢者医療で自己負担を除く医療に係る費用の前年度市町村負担分に関する精算額でございます。

また、その2つ下、後期高齢者医療保険基盤安定繰出金で126万3,000円の増額は、額確定見込みによる増額となります。

さらにその下、後期高齢者健診委託料の415万2,000円の増額は、はつらつ健診の受診率の向上が見込まれることによる増額です。

次に、歳入について御説明いたしますので、8ページを御覧ください。

最上段、15款1項1目 民生費県負担金の説明欄、上から2つ目、後期高齢者医療保険基盤安定負担金94万7,000円は、先ほど歳出で説明いたしました繰出金の4分の3でございます。

続きまして、10ページを御覧ください。

中段、20款5項3目 雑入の後期高齢者医療広域連合受託事業収入の286万7,000円は、はつらつ健診の委託料増額に伴う広域連合受託金でございます。

以上で保険医療課所管分の説明を終わります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 松村子育て支援課長。

○子育て支援課長（松村清子君） それでは、子育て支援課所管分につきまして、初めに

歳出について御説明いたします。

補正予算書の15ページを御覧ください。

上段の3款2項1目3 児童福祉事務事業2,167万3,000円の増額の主な要因は、児童発達支援センターの備品購入及び児童手当等、今年度の執行見込みから不足する額を計上したことによるものでございます。

続いて、16ページを御覧ください。

下段の表の中ほど、4款1項2目1 母子保健活動事業56万2,000円は、母子保健衛生費補助金返還金として令和6年度分の精算により返還するものでございます。

続きまして、歳入を御説明いたします。

6ページを御覧ください。

下段の14款1項1目2 児童福祉費負担金は、歳出にて増額計上しております児童扶養手当等の国庫負担分となっており、同じく7ページの最下段、15款1項1目3 児童福祉費負担金は児童手当の県負担分となっております。

続いて8ページを御覧ください。

最下段の17款1項1目1 一般寄附金のうち、児童福祉費寄附金86万3,000円は企業様より御寄附を頂いたもので、歳出で説明させていただきました児童発達支援センターの備品購入に活用させていただきます。

続きまして、4ページを御覧ください。

第3表 債務負担行為補正を御説明いたします。

表の下から2つ目、こども計画策定業務委託事業、こちら、期間は令和8年度、限度額は781万円でございます。

以上で説明を終わります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 小川こども保育課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 続きまして、こども保育課所管分につきまして、御説明いたします。

歳出から説明いたしますので、補正予算書15ページを御覧ください。

上段の表の下、3款2項2目 保育園費を5,993万6,000円増額するものでございます。

右側説明欄を御覧ください。

賄材料費500万円は公立保育園の給食賄材料費を、認可保育所等整備補助金1,533万8,000円は幼保連携型認定子ども園への移行に伴う施設整備費補助金を、施設型・地域型保育給付費1,972万2,000円は、人事院勧告に伴う公定価格の改定分をそれぞれ不足分を見込み、増額するものでございます。

その下、子どものための教育・保育給付交付金等返還金1,987万6,000円の増額は、令和6年度分の実績確定による国・県への返還金となります。

続いて、歳入を説明いたしますので、6ページを御覧ください。

下の表3段目、説明欄、子どものための教育・保育給付費国庫負担金1,447万円の増額、次ページ、7ページ、真ん中説明欄、就学前教育・保育施設整備交付金1,552万3,000円の増額、次ページ、8ページ、上の表、説明欄、施設型教育・保育給付費等県費負担金723万6,000円の増額は、歳出で説明しました整備費補助金及び給付費の増額に係る国・県の負担分となります。

以上で説明を終わります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 川原健康推進課長。

○健康推進課長（川原静恵君） それでは、健康推進課所管分につきまして、主なものを御説明いたしますので、16ページを御覧ください。

4款1項3目2 成人予防接種事業536万5,000円は、風疹対策事業費及び新型コロナ定期接種の実績に基づき国へ返還するものです。

17ページを御覧ください。

1行目、3、新型感染症予防接種事業1,094万8,000円は、令和5年度からの繰越分、新型コロナワクチン接種事業費について、実績に基づき負担金等を国へ返還するものです。

以上で説明を終わります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 ちょっと僕、まだ分かってないので教えてほしいんですけど、13ページの老人扶助事業の老人保護措置費381万4,000円増、これの積算根拠だけ教えてください。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） では、お答えさせていただきます。

現在、老人保護措置費、3名分を見込んでおりまして、今年度になりまして2名分追加がございました。ほぼその方の分という形で御理解いただければと思います。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 清水委員。

○清水義昭委員 同じところですけども、追加の2名というのは今現在措置をされているということで理解しましたけども、これ、いつ頃からその方は措置されているんですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 答弁願います。

今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 2名のうち1名は5月から、もう1名は10月からになります。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 服部委員。

○服部龍一委員 13ページの高齢者の補聴器の助成金ですけど、1人当たりどれぐらいの助成されるのでしょうか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 補聴器の助成でございますが、課税世帯については1申請当たり1万5,000円を上限に、非課税世帯は3万円を上限としております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほど老人保護措置費のところ、もう既に保護措置されているということなんですけども、1名は5月ってことで、かなり早い段階でもう予算的に厳しいのは分かっていたんじゃないかなと思うんですけども、この時期に補正をしているのはなぜなんですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 答弁願います。

今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） もちろん5月の段階では確認はさせていただいておるんですけども、やっぱり今後の執行見込みが固まったこの時期に補正をお願いするものです。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のこの老人保護措置の要件といいますか、こういった場合にこういった費用が出てくるのかというのをちょっと確認したいです。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 答弁願います。

今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） まず、対象となる方の要件という説明でよろしいですかね。

養護が必要な老人の方という形にはなるんですけども、老人福祉法に基づく措置ということになりまして、例えば認知症等で意思能力が不十分、十分でない方ですとか、虐待等により家族の、養護者の支援が受けられない方について、やはり在宅生活を継続するこ

とが困難ということで措置を、福祉事務所のほうで措置をさせていただくと、そういったものになります。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかに。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 じゃ、いずれ御自宅に戻られたりとかされる可能性もあるということですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） ちょっと個別のケースについてちょっとお伝えするのは難しいんですけども、一般的なお話ということで御説明させていただくと、先ほどの意思能力がないというような話にはなるんですけど、例えば契約が、意思能力がないと契約が結べないものですから、成年後見人を立てて、そちらが意思表示をして、例えば財産があるということになれば、例えば契約で介護施設に入所したりだとか、ちょっと在宅が可能かどうかってなかなか難しいのかなというふうには思うんですけども、そういったことで措置が終了となるケースもございます。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 その下の難聴の補聴器の購入助成ですけども、これ、補助率が上限が2分の1で、で、1万5,000、3万ということで上限があるんですけども、補聴器の機械自体がどれぐらいのものを購入されているかというのは把握はされていますか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） ちょっと詳細までちょっと数字は持ち合わせていないんですけども、大体上限額でアップパーとなるケースが圧倒的に多いかなと思っています。やはり様々で、数十万するものも申請が上がってくることもございますし、あんまり、だから、例えば6万円で3万円というところはあまり少ないのかなというふうに認識はしております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 鵜飼委員。

（関連の声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、2分の1の補助率なんですけども、で、一般の方だと

1万5,000円の補助が出ると。そうすると、例えば3万円で購入、3万円ちょっとぐらいで購入しているケースは結構少なく、もっと大きい金額ですか。5万以上のものが結構ほとんどみたいな、そんな感じなんですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） そうです。あくまで、ごめんなさい、私の認識というか、申請書を見てた認識としては、そういうイメージであります。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 14ページの後期高齢者健康審査等事業、なので後期高齢者健診委託料415万2,000円の増、これ、はつらつ健診だということだと思うんですけども、まるっとこれが全部はつらつ健診に充てられる額という認識でいいですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） お見込みのとおりです。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 で、これの増額理由だけ教えてください。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 当初予算で3,888人の受診を見込んで積算しておりましたが、実績の伸びに応じまして、今回300人程度、4,223人の実績ということで積算を見込んだものでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところで4,152人、これ、受診率でいうとどのぐらいになりますか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 4,223人を全体で見込んでおりまして、38%受診と想定しております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 受診率が上がっているということかなと思うんですけども、その理由というか、背景は把握されていますか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 確かに受診率につきましては、令和5年度で33.26%、令和6年度で35.33%ということで、年々上がってはきているんですが、実際の実態といたしましては、例えば後期高齢者の対象者自体が、団塊の世代が大きく入っていて変わっていること、あとそれから、コロナであったりすると、一旦受診率が下がって、その後反動で上がって、中には2年に1回受けるというような方もいらっしゃいますので、一概に右肩上がりになっていくものではございません。長期的には、動向も少し見据えていきたいなと思っております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 もう一つ、たしか今年度からこのはつらつ健診が特会から一般会計に移って、保健事業と介護保険と何か一体化みたいなことがあったと思うんですけど、そういう何か効果みたいなものもあるんですか。それは関係ないんですかね。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 今年度から特会から一般会計に移したのは、事業内容が変わったわけではなくて、消費税の納入に関する関連で一般会計のほうに移したものでございます。ただ、一体的事業はもちろん、健診の結果などを踏まえた上で、高齢者の健康づくりに取り組んでいくものですので、これまでもこれからも関連はあると考えております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 15ページの兎発の備品購入費ですね、90万だったかな。これが御寄附頂いて遊具つけるというような感じだったと思いますけど、どんなものをつける予定ですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 現時点では三角クライムというものを予定はさせていただいておりまして、屋根のような形になっているもので、片側はロープを使って、もう片側はクライミングを使って、手指も使いながら、全身の機能も使いながら、バランス感覚も保ちながら遊べる遊具になっています。でも、三角になっているので、空いたところはちょっと隠れるということもできるようなものになっております。それを想定しております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 4ページの債務負担行為、こども計画のところ、お聞きしたいんですけども、ちょっと本会議でもいろいろ説明を部長されて、ちょっと重なる部分があるかもしれませんが、子ども・子育て支援計画というのがもともと本市にはあって、これ、改正したばかりで、今年度からスタートなんですよ。部長のいろいろ本会議での説明だと、やはり重なる部分も結構あるというふうなんですけども、そうすると、これ、こども計画を作成するのは、本来は子ども・子育て支援計画ができたときのタイミングがベストだったんじゃないかなと思うんですけども、なぜこうやって遅れて出ているのか。その辺のタイミングがどうしてこのタイミングになっているのか、ちょっと説明をお願いします。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） ありがとうございます。

こども計画でございますが、子ども基本法におきましては、市町村は国のこども大綱と、あと都道府県のこども計画を勘案して定めるよう努めるものとするというふうにございます。で、昨年度末に愛知県がこども計画を策定したことを受け、このタイミングで策定を計画いたしました。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、今の回答をそのまま受け取ると、県が作成したから市も作成しようというふうになったという、そういうふうを受け止めていいですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） もともとこども大綱が出たときには、こども計画を策定していくというところは考えておりましたが、タイミングとしてはこのタイミングというふうになっております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 もう一つ、子ども・子育て支援計画とは別々の計画でなるのか、それとも一体的な計画になるのか。それから、あと計画期間は、子ども・子育て支援計画とそろえる形なのか、それとも、ずれた形のこども計画になるのか、どうなんですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 子ども・子育て支援事業計画の部分が、次世代育成に

関する内容も盛り込まれておりまして、こども計画の中に盛り込むべきとなっている少子化対策、その部分が子ども・子育て支援事業計画の中に入っているところも多くございますので、ちょっと表記の仕方をこれから考えていくんですけれども、こども計画策定するんだけれども、子ども・子育て、今現行の子ども・子育て支援事業計画についてもちょっと表記していく形を検討しております。

で、計画期間でございますけれども、おっしゃるとおり、子ども・子育て支援事業計画の策定のタイミングと合わせたいというのがございますので、そうしますと、一旦こども計画は、令和8年度に策定しますので、9年度から令和16年度までの、ちょっと期間長いんですけど8年間としますと、子ども・子育て支援事業計画は5年ごとに策定するということが決まっていますので、次の次のタイミングで期間が合うということになります。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 あと、以前子ども・若者、今回若者も含めた形で計画ができるということなんですけども、そういう子ども・若者支援に関する計画を策定したほうがいいんじゃないかという、これ、四、五年ぐらい前だと思うんですけど、ことを言ったときに、たしか今の副市長が回答してたと思うんですけど、法的な義務があるものや補助金に関わる計画以外は作成しない方針だというふうに市のほうはおっしゃっていたんです。で、今回のものは義務はないですね、努力義務なので。なんですけども今回作成するというのは、何か方針が変わったのか、それか、何かこれをつくると補助が出るみたいなものがあるのか、どうなんでしょうか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 副市長。

○副市長（小串真美君） 大方針としては、今、計画の策定が非常に市町村の負担になっていて、基本的にはそういう補助金だとかそういったものに絡むものでなければ、基本的にはつくっていかない方向性です。ただ、計画をつくる趣旨というのがあって、それは必要性があれば当然つくっていきますし、今回の計画でいけば、県がつくって、それに従って動くようなものになりますので、その後本市が動きにくいというようなことがないように、一律に補助金がないからつくらないというふうに決めているわけではなくて、あくまでも方針というふうに理解いただきたいと思います。

終わります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかに。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） この計画を策定することによるメリットにつきまして、部長が議場でも述べさせてはいただいておりますが、事業債が、子育て支援関連の施設整備の事業債が、こども計画を策定して、そこに位置づけることで活用可能となるという状況はございます。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、補助金はないけど事業債がちょっと有利なものがあるよということですよね。何かそういう、本市として、そういう子ども・子育て関連の施設で今後何か考えている、改修しようと考えているものとか、そういうものというのはあるんですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 言葉足らずの部分があって申し訳ありません。

実はこのこども計画は、まだ8年度予算が国で通ってないところはあるんですけども、補助金が、計画策定に係る補助金の一部当たります。その事業債を活用する予定も、保育の施設とかであるとは聞いております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 具体的にどういう施設を、本市の子ども・子育て施設で改修する何か考えがあるかどうかということなんなんですけど。あるんですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 塚本部長。

○健康福祉部長（塚本由佳君） 事業債につきましては、今後、予算のこともございますので、今計画はございますが、ちょっと差し控えさせていただきたいと考えております。

終わります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） よろしかったでしょうか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 では、以前、子どもの権利条例を本市、考えているという、作成を目指しているということで聞いているんですけども、今回のこのこども計画の作成は、何か関係性というのはあるんですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 子どもの権利条例につきましては、子ども・子育て支援事業計画にも掲載をさせていただいているところでございますが、このたび、こども計画を策定するに当たりましては、子どもの意見聴取をするというふうになっておりますの

で、子どものワークショップなどは行っていきたいなというふうに考えております。その中で、子どもの権利についても、直接子どもたち、お子さんたちから意見を聞ければというふうには考えております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回のこども計画策定のために、何か協議会とか附属機関を立ち上げるという考えはあるのか。それか、今ある子ども・子育て支援会議があると思うんですけど、それでやっていくのか、どうなんでしょうか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 現行の子ども・子育て会議を活用していこうとは思っておりますけれども、ちょっとまた委員につきましては検討していきたいなと思っております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 その委員には、やはり子どもだったりとか、若者とか、そういう人を入れていくという考えはあるんですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） ちょっと今のところはまだ検討段階です。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 2点お聞きしたいんですけど、14ページの上の障害者自立支援給付費負担金等返還金と、その下の心身障害児扶助事業の中の一番下の心身障害児者居宅サービス事業費、この内容をちょっと教えてほしいんですけど。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） まず、1点目の御質問の返還金でございますけども、大きく2つの要因がございます。1つは、令和6年度に交付を受けた国県支出金の返還金そのものでございます。もう一つの要素としては、株式会社恵が施設運営をしていたグループホームなどの不正請求によって過大交付となっていた国・県への支出金の返還金というのがあります。それを合わせて4,420万8,000円の返還ということになります。

また、2点目の御質問の心身障害児通所居宅サービス事業費について、約1億円ほど増額をさせていただいておりますけども、内容といたしましては、放課後等デイサービス、この利用が利用日数、利用者数共に増えているということで、今後の執行見込みを勘案し

て、1億円ほど増加をさせていただいたというものでございます。

以上であります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどのこども計画のところですけども、先ほど計画策定の中で、子どものワークショップ等を行って意見を聞くという話があったんですけども、それは、そのワークショップはどういうふう to 実施するのか、それから、参加者はどのように募っていく考えなんでしょうか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） まだ検討段階なので、案としか申し上げられないんですけども、小中学生を対象にと思いますと、夏休みに向けてとか、そういった形で、募集方法についてもいろんなところに協力をいただきながらというふうには考えております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

関連ですか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 こども計画、今回債務負担行為で上がっていて、策定業務の委託をするということなので、どのように作成をしていくのかなということはしっかり考えていただいた上で、債務負担として予算の提案をしていただきたいと思うんですけども、今、附属機関とか協議会のやつも入れるかどうか分からないし、ワークショップもどういうふう to 募集するか分からないというところなので、これからというところなんですけども、子どものやはり権利でやっぱり非常に重要なのが子どもの意見表明権だと思っていて、今回こども計画を策定するのであれば、それをかなり重視して作成を進めていただきたいと思うんです。

その場合に、子どもの意見を聞いてワークショップとかをして、アンケートをして参考にする、聞いて参考にするということだけではなくて、やはり子どもの意見表明権というのは、そういった子どもが決定する、判断する場に出て意見を言って、それが計画に反映される、反映していくということをしっかりやっていただきたいと思うんですけど、そのような流れというか、仕組みはしっかり考えられているのかどうかというのを確認したいです。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 考えてまいります。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） よろしかったでしょうか。

以上で……。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 考えていくということで、もう一つ、じゃ、確認で。

そうすると、例えば、子どものこういう意見はこんな形で施策に反映されましたよというような返事をしたりだとか、あるいは、今回反映できなかった場合は、こうこうこういう理由で反映できませんでしたみたいなことを伝える、そういう機会とかそういう場も用意していくということでよかったですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） そういったことも考えてまいりたいと思っておりますし、今回委託料で債務負担、上げさせていただいておりますのが、やっぱり専門的な知見がある、あと、いろいろほかの市町の状況も把握されているコンサルさんに委託することで、こちらとしても一緒にやっていくことで、幅広く検討ができるかなと思っております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの、コンサルをお願いして委託でということなんですけども、たしか本会議の説明ですと、そういうことも計画の素案の作成だったりとか資料作成とかも、委託の内容でコンサルのほうがつくっていくというふうだったと思うんですけど、それは市はできないんですかね、やっぱり。民間にお願いしないと、市は作成できないんでしょうか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 一番は、アンケート調査ですとかその分析ですとか、そういったところはやはり業者が一番いろんな知見がありますのでよろしいかなと思っておりますね。ただ、骨子を考えるのは市であるのは間違いございませんので、案について、作成支援はしてもらいますけれども、大枠のところですか、あと細かいところも含めてですが、市としてももちろん策定していきます。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） よろしかったですか。

清水委員。

○清水義昭委員 全然別のところでいいですか。

15ページの保育ですけど、認可保育所等整備補助金があると思いますけども、これが多分認定子ども園に移行というような御説明があったと思いますけども、これの原資を知りたいんですけど。国から出ているんですか。ちょっとここの原資を、説明をお願いします。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 整備費補助金で、国と市と事業者の持分割合がもう決まった事業でございますので、事業者としては4分の1、総事業費の4分の1で建てられるということで、国のほうはその内容によって2分の1から3分の2まで変化するというものでございます。その間のところの市の負担分があるというふうに思っただけであればいいかなと思いますが。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 清水委員。

○清水義昭委員 これ、多分暁幼稚園じゃないかなと思うんですけども、実際のところ、市のほうの持ち出しというのは、今回の確定してくるのは幾らぐらいなんですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 市のほうは3,800万ほどになります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、違うところで。

16ページの医療扶助費で、執行見込みで結構増えているんですけども、この増えている要因としては、そういう生活保護の方が増えているということなのか、それとも、生活保護の方の何か高齢化が進んでいるからということなのか、どういうふうに捉えていますか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 生活保護の受給実態を見ると、5割弱の方が高齢者の方となっておりまして、令和7年10月末現在の状況で申し上げますと、生活保護世帯数が268であったものが282世帯ということで、若干ではございますけども増えているという実態がございます。そのうち、医療扶助を受けている者の数といたしましては、昨年10月末現在が277人で、今年の10月末現在が312ということで、こちらのほうも、若干ではございますけども、増えているという背景はございます。

以上であります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 増加しているということで、ただこれ、1億なんですよね、増が。かなり増えているなというところで、それは確かに人数の増えというのもあるんですけども、何か特定の方とか、数人の方がそういう高額な医療費がかかっているとか、そういう

現状もあるんですかね。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 医療の受けている実態というのは、なかなか分析するというのは非常に難しいものでございます。

まず、扶助費の予算計上の在り方そのものでございますけども、これはこれまでの実績とか予算措置状況を見て、12月補正もある程度視野に入れた予算編成というふうになってございます。決算見込みで見ると、昨年度が3億8,000万ぐらい、今年度が4億ぐらいを見込んでいますので、執行見込額を見て1億円ほどを増額させていただいたというのがこの補正予算の内容になります。

以上であります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 今のところは、今回の補正をして4億円ぐらいになるという、予算が4億円ぐらいになるという理解でいいですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） そのとおりでございます。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 その下のところにあります予防接種の健康被害の、これ返還金ですけども、コロナのワクチン接種とか風疹の、そういった健康被害の給付で、昨年度分の、これ、返還金になっているかなと思うんですけども、ちょっとこの仕組みをちょっと確認をしたいんですけども、一般的に考えると、国が、健康被害があった場合に市のほうで受け付けて、国に申請して、国のほうが認定したら給付額が確定するという流れかなと思うんですけども、返還金が出るということは、事前に国から給付を市がもらっていて、そういうのが出たときに払う、で、残ったものは返還すると、そういう流れでよかったですかね。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） まず、認定までの流れなんですけど、委員のおっしゃるのとおり、まず、予防接種の健康被害があったときに市のほうの窓口で御相談に見えて、申請書類が整った段階で予防接種の健康被害の委員会を開きます。その意見を添えて、県を通じて国のほうに進達していくというのが流れでございます。結果につきましても、認定のほうの、認定の結果が下りてきます。この返還金なんですけども、もともと当初の予算はございました。で、執行状況を見ながらその額を、6年度の見込額を交付申請をさせて

いただきまして、その差額分が今回の35万の返還となっております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 それで、少しやっぱり気になっているのが、国のほうに申請して、給付の制度でも、認定を受けた後に何か因果関係が否定されて払わないことになったりとか、給付額が何かしらの理由で減額されたりとか、そういったこともあったのかなと思っただけなんですけど、そういったことではないということですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 進達の結果で認定されるのが否認ということになります。額が決定しているものではございませんで、大きくは、こちらのほうの返還の大きくは2つでございまして、医療費にかかった自己負担額はかかった分が全額になります。さらに、医療手当というものがございまして、診療日、病院にかかった月ごとの日数で、3日までののか、3日以上なのか、入院があったのかによって医療手当が決定するものでございしますので、減額があったということではございません。実際の実績に基づいての交付申請の差額分についての返還になります。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 15ページの上の、これ、子育て支援課のところだと思うんですけど、児童福祉事務事業のところで、一般財源が1,000万ぐらいマイナスになっているので、財源振替か何かは起きているのかなと思うんですけど、大枠でいいので、何か振替があれば御説明をお願いします。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） こちらなんですけど、歳入の児童手当費の国庫の部分が、今回増額させていただいた額よりも歳入の見込みが多くなるということが分かりましたので、具体的に申し上げますと、補正予算書の6ページの下の表の2番、児童福祉費負担金、こちら、児童手当の負担金が2,952万2,000円となっております。この関係でございまして。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 6ページ、歳入です。

生活保護費負担金の7,500万円、これ、先ほどの医療の扶助費の増額にということで、民

生費の国庫負担金、生活保護費の国庫負担割合、4分の3になっていますよね。それで1億の増額に対しての7,500万ということで理解しました。これって、当然、見込みとして1億ぐらい増額するということで、打診かけて7,500引っ張ってきたということなんですけども、これはもうこのタイミングでも確実にメニューとしてあるから、それを見込んで引っ張ったのかどうかだけ教えてください。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） これは国庫負担金でありますので、これは国が義務的に全額背負わなければいけない経費でございます。この後の展開といたしましては、実績報告をする段階で追加交付になれば追加交付を受けていくという、そんな流れになろうかと思えます。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 先ほどとの重複になりますけども、現時点では1億の増額で何とか今年度はいけるんじゃないかという見込みなんですよ。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） そのとおりでございます。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手をお願いします。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 補正予算ですけども、非常に迷ったところではあるんですけども、今回この所管については賛成したいと思うんですけども、問題点は指摘をさせていただきますけども、やはりこども計画の策定で、こういう、先ほども申し上げたように、ここで予算をこうやって出しているわけですから、どのようにつくっていくのか、そして、どのように子どもの意見とか若者の意見を聞いて作成していくのかということはしっかり持った上で、そういう仕組みを考えた上で出していただくのが本来かなというふうに思います。

で、やはりこども計画の策定の理由も、県が策定したからということではなくて、やはり市としてのそういう、少子化対策の課題だったりとか、子どもとか若者の意見の反映、意見の表明ということをもっとできる機会をつくるとか、そういう改善をしたいという思いで作成に臨んでいただきたいということ。先ほどのワークショップとか、そういったと

ころでの子どもの意見を聞くということなんですけども、そういうのをやはり形式的に聞いて参考にするということではなくて、やはりしっかり反映の状況を説明できるようにだったりとか、具体的な施策とか計画の判断に対して、子どもの意見、それから若者の意見を、そういったものを反映させる、加えさせて、そういう、子どもにも若者にもしっかり意見、言える場をつくると、そういうような計画策定にしていきたい。

それから、協議会、附属機関等にも、やはりそもそも当事者である子どもとか若者が入っていないければ、もう本当に、子どもの意見表明ってあるんだけど、実際そういったいろんなことを決めていく場には入れないということになってしまいますので、しっかりそういった場に入れていただきたいということ。

それと、いろんな計画策定について、今回民間に委託してということなんですけども、やはりそういったコンサルが入らないとできないという状況ではいけないのかなと思います。市の職員がいろんな他市の状況を調査しながら、子どもと一緒に何かつくっていくとか、若者も入れてつくっていくとか、そういったことができるようになっていく必要が今後あるのかなということを問題提起をさせていただいて、今後、そういった子どもとか若者の施策をしっかり拡充していくということを期待して、今回は賛成したいと思います。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 以上で……。

すいません。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 議案第89号の補正予算の本委員会所管部分について、賛成の立場で討論いたします。

時期的にも必要な補正が上がっているなというふうで認識しました。また、今ありましたこども計画策定業務委託事業、令和8年度債務負担行為という形で781万円上限で出ております。他市町の事例とかもちよっと参考に調べてみたんですが、額としても適正、もしくは安価ぐらいなふうかなというふうに思っております。これの金額も上限ということで、執行の際はしっかり注意して見ていただきたいということと、やはりある程度広く意見聴取であるとか、市のほうも積極的に携わってきていただきたいなという部分でもございますので、その点だけお願いして討論を終わります。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第89号のうち、本委員会所管部分については、原案のとおり決することに御異議あ

りませんか。

(異議なしの声あり)

○健康福祉委員長(岡島ゆみこ議員) 御異議なしと認めます。よって、議案第89号のうち、本委員会所管部分については、全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第90号 令和7年度豊明市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)についてを議題といたします。

本案件につきましては、既に本会議で近藤保険医療課長より提案説明を受けておりますので、直ちに質疑に入りたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○健康福祉委員長(岡島ゆみこ議員) 御異議なしと認めます。よって、議案第90号は提案説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

清水委員。

○清水義昭委員 歳出が、電算関係委託料だと思いますけども、1,100万、かなり大きいんですけど、具体的にどんなようなシステム改修をするのかをお願いします。

○健康福祉委員長(岡島ゆみこ議員) 近藤課長。

○保険医療課長(近藤有紀子君) 令和8年4月より子ども・子育て支援金制度が始まりますので、それに併せて国民健康保険による賦課徴収を行うためのシステム改修でございます。

以上です。

○健康福祉委員長(岡島ゆみこ議員) 清水委員。

○清水義昭委員 国民健康保険による賦課徴収を行うためということは、国民健康保険に加入されている方の中で、徴収をするための何か判別するようなものを入れるということによって1,100万ということによろしいですか。

○健康福祉委員長(岡島ゆみこ議員) 近藤課長。

○保険医療課長(近藤有紀子君) 子ども・子育て支援金制度について、少し簡単に御説明させていただきますと、全世代から支援金を拠出し、それによる子育て世帯に対する給付の拡充を行う制度でございます。その支援金の拠出に関しましては、医療保険制度により拠出する形となっておりますので、国民健康保険に加入されている方全世代の方に、若干18歳以下と18歳以上で税率については異なりますが、徴収をさせていただくこととなっております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところで、これは国保税と一緒に国民健康保険の加入者に対してそういう、子ども・子育て支援基金の徴収をする、そういう仕組み、システムを構築するということでもまずよかったですね。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 委員のおっしゃるとおりです。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 報道等で見ると、1人当たり大体月平均で500円程度というのであったんですけども、本市の国保加入者で、平均でどのぐらい徴収されるかというのは試算されていますか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） まだ本市の国民健康保険の額につきましては、現段階でまだ試算している段階でございますが、国のほうで加入者、医療保険制度での差ということで示されているのによりますと、令和8年度につきましては、国民健康保険は月250円相当、令和10年度まで段階的に上げていくこととされておりまして、令和10年度では月額450円程度とされております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 先ほど18歳ぐらいのところで賦課の徴収率が変わるみたいな話があったかと思うんですけど、それ以外に何か複雑な徴収の率が変わるということはあるんでしょうかね。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 今、国民健康保険につきましては、医療、後期、介護保険、それから、そこに子ども・子育てが加わる形になっております。子ども・子育てに関しましては、所得割、均等割、平等割という3方式で、本市におきましても現段階では想定しているところでございますが、均等割につきましては、子どもに対しての支援する制度であるということで、18歳以下は課せられないということが国の制度において決められている段階でございます。ただ、その18歳以下の均等割分を、18歳以上の保険加入者のほうで負担し直すというような制度でもあります。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 そういうことじゃなくて、これ、システム、電算関係委託料としては結構高額な部類だと思うんですよ、1,100万ってあるので。なので、そんな複雑な処理が必要になるような改修なのかということをお伺いしたくて。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 対象により異なる賦課を掛けるものでございますし、18歳以下の均等割を減額した分についてを、もう一度18歳以上に賦課し直す形になります。今回のシステム改修につきましては、そういった、様式の変更とかそういったものも全て納付書等、変わってまいりますので、ですので高額になっているものでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 これ、たしか一般会計のほうでは9月の補正だったんですけども、国保のほうはなぜちょっと遅れて改修になるんですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） システム会社のほうにも確認をいたしまして、1月からの改修対応で間に合うということも確認済みですが、一般会計と異なりまして、国保に関しましては実際これが賦課徴収に当たるということで、仕様の仕組みですとか、若干そういった組立てが難しいものになりますので、より精度を見極めた段階で、今回の補正とさせていただいたものでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 国保についてはいつの分で賦課されるんですか、最初。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 令和8年4月分からになります。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手をお願いいたします。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 子ども・子育て支援金の関係でのシステム改修なんですけども、私はこの子ども・子育て支援金の制度自体反対ですので、システム改修に反対したいと思います。

これ、国会でもいろいろ、立憲民主党とか国民民主党等々がいろいろ問題視して、独身税ではないかということで廃止の案等も出されていましたが、やっぱり知らないうちに社会保険料とかそういうものと一緒に徴収されて、支援金という名の下に事実上増税するような形になりますので、さらに、やはり国民健康保険って個人負担の比率が非常に重いものなので、この物価高騰とかそういう、生活が厳しくて賃金上昇もなかなかないという中で、現役世代のそういう手取りを減らすような、そういうような施策になるので、やっぱり制度自体には賛成しかねますので、この特会、反対でいきたいと思います。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 賛成の立場で討論します。

いろいろ質疑させていただきまして、答弁をお聞きすると、ある程度複雑なシステム改修になるというようなことで、今回のこの議案、システム改修の是非を問うものですので、ある程度は仕方ないかなというような感じで、賛成です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第90号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 賛成多数であります。よって、議案第90号は賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第91号 令和7年度豊明市介護保険特別会計補正予算（第2号）についてを議題といたします。

本案件につきましては、既に本会議で今枝長寿課長より提案説明を受けておりますので、直ちに質疑に入りたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第91号は提案説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 3ページの自治体情報システムの標準化対応の業務で、債務負担行為として出ていますけども、それとこの業務内容を説明してください。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） システム標準化の内容でございます。

まず、介護保険システムの標準化に併せて、基本的な標準仕様書に載っておる部分以外の現時点、現行で豊明市では運用しているシステム内容を担保するために必要な経費ということで、まず御理解をいただきたいと思います。この968万円の内訳を説明させていただきますが、内容として3つ、改修の内容はございます。

1つ目が、ゼロ円通知というふうに呼ばせていただいております。これは介護保険料の徴収が10月以降ゼロである方に対して、ゼロ円であるという通知を作成するような内容のものになっております。

2つ目が、障害者控除認定書の発行に関する機能の実装ということになっております。これは所得税とか住民税とか、障害者控除を受けるために必要な書類を、要介護認定を受けていらっしゃる方が、該当がある方については、こちらからプッシュ型で送らせていただいております。今事業を行っておって、そちらが標準仕様書にないものですから、それに対応するものになっております。これが一番大きな、半分以上の経費となっております。

3つ目がコンビニ収納の対応という形で、現行、介護保険料については、納付書の方は金融機関でお支払いいただくような形で、ほぼ、ほとんどの人は特別徴収で年金から引き落としがされるものになってはありますけれども、その普通徴収の方を金融機関以外で、コンビニでも対応できるような改修となっております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 これは、全額これ、市の負担になるんですか。それとも、国とか県とかの負担というのは、補助等あるんでしょうか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 取り立てて補助金等、特定財源があるものではございません。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 これ、もともと自治体情報システムの標準化というのが、国が主導

で推し進めてきた事業だと思うんですけども、なぜ何も交付金とか国からなくて、市が全額負担するような形になっているんですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） まず、どういう理解をしているかということだけちょっと申し上げさせていただくんですが。まず、国のほうの整理というよりは。

基本的に標準仕様書以外のものについては、自治体が現行で住民サービス、福祉の向上のためにサービスを行っておるというものをやっているという、自主事業だというふうな捉え方かというふうに理解しております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、自治体のシステム、標準化できない部分で市独自でやっている業務だということなんですかね。ほかの市ではやってないような業務なんですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 特に２点目の障害者控除認定書については、結構県内多くの自治体がやっているし、全国的に多くの自治体がやっておるというふうには承知はしておりますけれども、基本的には介護保険法に基づく内容の通常の処理、標準的な処理ということではないものですから、あくまでやはり住民サービスというふうに国のほうで整理されておるというふうに理解しております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 ６ページです。すいません、僕が何か聞き漏らしてたらごめんなさい。

施設介護サービス給付事業の給付費１億５,０００万円増、これは単価の増からなのか、実績、利用数の増からなのか、どうなのでしょう。教えてください。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 大きくは利用者数の増のほうが大きかったかなと思っています。利用者数は１０％程度、昨年度の、昨年の上半期と今年度の上半期を比べると、人数的には１０％ほど伸びています。給付費としては７％ほど伸びておるところでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの自治体情報システムの標準化のところで、これ、市が全額負担となると1,000万近くあるわけですが、実際これをシステム化というか、そういうふうにして、市の職員としては具体的に業務の軽減とかになるのか、あるいは経費の削減効果というのはあるのでしょうか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） ちょっと経費の削減効果の詳細な数値については持ち合わせていないんですけれども、例えば一番大きなもので障害者控除認定書の話をしていただくと、このサービスをまずやめるかどうかというようなお話にまずなるかと思います。止めないとするとうとうふうになるかということ、市のほうで何かしらのシステムをつくって、何か打ち出しをして、それを送るということを想定しなければならないです。それに対するコストについてちょっと、金額まではちょっと持ち合わせていないんですが、相当なそういった作業が必要かなというふうには捉えております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 6ページの真ん中辺りかちょっと下かな、あります意見書の作成の支払い委託ですが、が増加しておりますけれども、これは、昨年度とか今までよりもそういう認定者数が増えているということなのか、どういう理由で、これ、増えているのでしょうか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 申請者数についてなんですけれども、若干伸びておるような傾向は捉えております。今回、金額に大きく影響しておるのは、単価が実は上がっておって、昨年度の単価が大体1件当たり4,600円で、今年度の単価4,800円になっています。その200円の差は、すごい詳細まで調べられるわけではないんですけれども、一般的に主治医意見書って3,000円から5,000円の中で、施設なのか在宅なのか、新規なのか継続なのかによって金額が変わってくるので、施設より在宅のほうが高いですし、継続より新規のほうが高い。なので、そういった方が、在宅の方、新規の方が多いのではないかとこのように捉えております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手をお願いいたします。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 これもちょっと判断迷うところですけど、賛成したいと思います。

で、市民サービスに関わる場所なので賛成とするんですけども、やっぱりそもそも自治体情報システムの標準化の業務自体が、国が言い出して標準化していこうということで進めてきたものなので、それにひもづくシステム改修が、自治体が全部負担してやらないといけないというのはちょっと不合理といいますか、そういった費用が自治体にのしかかっているのはどうかなということは思います。

ただ、本市としてそういったことをやるということなので、やはりそういった、こういったことをやることによって、そういった経費の削減だったりとか、人件費の業務の軽減だったりとか、そういったこともしっかり考えていただきたい。ただ結果として高コスト増になってしまわないようにしていただきたいということを申し上げて、賛成したいと思います。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第91号は原案のとおり決することに異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第91号は全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第92号、令和7年度豊明市後期高齢者医療特別会計補正予算1号についてを議題といたします。

本案件につきましては、既に本会議で近藤保険医療課長より説明、提案説明を受けておりますので、直ちに質疑に入りたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第92号は提案説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 4ページの真ん中、電算関係ですけど、これは国保と一緒に、子ども・子育て支援金制度のシステム改修と理解していいですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） おっしゃるとおりです。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、国保のほうは1,200万近くあるんですけども、今回物すごい、こっちのほうは金額としては少ないんですけども、なぜこんな違うんですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 広域連合との業務の振り分けによるものです。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、広域連合のほうでもシステム改修をして、負担割合といますか、そういうものがあるんですかね。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 広域連合におきましてもシステム改修が予定されているところでございますが、振り分けではなくて、もともとの業務が、保険料算出につきましては広域連合のほうで行いますので、それによるメニューの違いでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 保険料算出のほうが広域連合でやるとしたら、市でやる改修はどの、どういう部分になるんですか、これは。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 広域連合システムから保険料に併せて支援金額を後期高齢システムに取り組む前提でのシステム改修等となっております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） よろしかったですか。

副委員長。

○中堀りゆういち委員 全くちょっとよく分からないんで、もうちょっと砕いて今のところ、お願いします。分かりやすく。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 広域連合とは保険料関係につきましては別なシステムで連携を結んでおりまして、広域連合のほうで保険料を算出されまして、それを市のほうに取り込んで、こちらの改修も行った上で、保険料として納付書等の発行等を行っている

形になります。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 副委員長。

○中堀りゅういち委員 だから、上から下りてきているのを、もうあとはやるだけですよという状態ということでもいいんですよ。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 広域連合が算出するための資料についてもこちらから送りまして、それに合わせて広域連合のほうで作業が一定程度されて、また市町村のほうにそれが下りてくるという関係になります。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手をお願いいたします。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 国保と同様の理由ですね。システム改修であってもやはりそういった、市としてはそういったことではないといけないということは分かりますけども、こういった、なかなか賃金というか、お金が厳しい中で、こういうふうにして増税になるような制度ですので、やっぱり認められないので反対したいと思います。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 賛成です。

国保の特会と同じですけども、システム改修やって、バグがないようにしていただけたらと思います。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第92号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 賛成多数であります。よって、議案第92号は賛成

多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

ここで10分休憩いたします。

午前 1 1 時 1 3 分休憩

午前 1 1 時 2 3 分再開

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を始めます。

これより請願、陳情の審査に入ります。

初めに、請願第4号 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願を議題といたします。

本請願については、紹介議員が既に本会議場において趣旨説明をされましたが、補足説明の申出がありましたので、説明をお願いいたします。

郷右近 修議員。

○郷右近 修議員 何点かしやべります。

文面の中の7番、まず予防接種のところのRSワクチン、ありますけど、皆さんも御存じのとおり、11月19日の厚生労働省の専門部会で来年4月から定期接種化ということになって、ちょうどこれを手続で提出するようなぎりぎりぐらいのところでしたから、これはそういうことだというふうに御理解ください。

それから、要望の中にあります学校給食費のこと、費用の面の御意見が出る人が多いのでしゃべっています。財源的には、日本全国で公立の小中学校、特別支援学校の給食費を無償化するのに必要な金額は、文部省の推計でいうと1年間に4,800億円ぐらいということだそうです。そのことについてが1つなんですけれど、軍事費を短期間に大幅に増やして、今年度中11兆円、合計ですけどね、になるということで、補正予算で1.1兆円盛り込まれているだとかいうことからすると、国全体の財政的措置としては十分実現可能ではないのかというふうにまず1つ思います。

さらに、もう一点、こちらは介護分野で働く人の待遇の改善もうたわれているので、そのことについてもしゃべっています。引き続き、全産業の平均値との介護分野で働く人の給与水準は大きく下がって、23年でいうと1か月6.9万円、24年が8.3万円、多分今年はさらに開くのではないかというふうに私は思います。これも厚生労働省の調べですけど。これに対して、全産業平均レベルに増やすのに必要な財源としては1.3兆円ぐらいが見込まれています。先ほどの給食費と合わせても、せいぜい2兆円程度ということになりますので、軍拡路線を改めて、なおかつ富裕層増税などで十分、10兆円、20兆円のレベルの財源はつくるのが可能というふうに私は認識しておるということも含めて、皆さんの御意

見や議論をしていただければと思います。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 御苦労さまでした。

本請願について、当局より状況等で説明できることがあれば、お願いいたします。

塚本部長。

○健康福祉部長（塚本由佳君） 特にございません。

終わります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 請願でありますので、直ちに質疑に入りますが、当局は質疑に対して、分かる範囲でお答えいただきたいと思います。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 かなり多岐にわたって出ているということで、本当は請願者にお聞きしたいところなんですけども、いらっしゃらないので、紹介議員のほうにちょっと分かる範囲でお聞きしたいんですけども、かなり重要な項目が多岐にわたって書かれておりますけども、やはりこれ、全部一気にやるのは非常に苦しいというか、厳しいのかなと思うんですけども。で、その中でも重要な部分が、星印が書いてはあるんですけど、この星印自体も結構たくさんあるんですよ。なので、請願者として、特に最優先というか、先にやってほしいとか、優先順位だったりとか、何かそういった考えがあれば、ちょっと教えていただきたいんですけども。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 答弁願います。

郷右近議員。

○郷右近 修議員 先に、忘れていました、事務局を通じて、今回請願の中に組合せで、国・県への意見書の案がないということがあって、作って事務局に出していて、さっき言うべきところを忘れていたので、ちょっと配ることについてもお願いをしたいというのと、あと、今のお話について発言しますと、先ほど言ったことの認識がやっぱり自分のことではあるんですが、特に物価高騰のことも含めると、学校給食費の無償化については民意としても要望が高いというふうに思っていて、そういうところから積み上げられると、本当に部分的にでも前進面として評価できるのではないかというふうには考えています。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 資料。

（資料を配りますかの声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 資料を配りますか。

（配ります。はいの声あり）

（じゃ、資料を配りますの声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 資料を配ってください。

資料はお手元に届きましたでしょうか。

（はいの声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） この資料について、郷右近議員、説明がありますでしょうか。

郷右近議員。

○郷右近 修議員 説明というか、請願の中に盛り込まれている国・県それぞれの要望というものを端的に抜き出して、通常見られる案のようにただ整えただけということで御理解ください。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかに質問ございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと、じゃ、当局のほうに1点、ちょっと確認したいのが、3番の生活保護のところでの（1）、⑧で、ケースワーカーの国の基準等守って不足ないようになってあるんですけども、本市のちょっと状況をお聞きしたいんですけども。大体、たしか国の基準が1人当たり80世帯ぐらいが目安だったと思うんですけど、本市はどのような状況になっているんですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 先ほど申し上げたとおり、生活保護の世帯数は280強となっておりますので、1人当たり90強という、そんな数字となっております。

以上であります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手をお願いします。

服部委員。

○服部龍一委員 請願第4号につきまして、不採択の立場で討論いたします。

この件に関しては、もう既に国のほうでいろいろ施策がありまして、医療・介護等支援パッケージということで、医療、介護、障がい福祉分野の現場で働く幅広い職種の方々の賃上げを支援するとともに、ICT機器の導入等による生産性向上、職場環境改善の取組を支援するという方針でありますので、この件に関しては不採択といたします。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 私は趣旨採択したいと思います。

やはりこの内容についてですけれども、非常に重要なポイントが多く含まれていて、取り組むべき点は多いなと。これだけ課題は多いなというふうに感じました。改めて認識をしました。

ただ、やはりこれだけ一気に同時に改善して進めていくということは非常に難しいですし、財政的な面からも考えても非常に厳しいのかなと。そういった、いろんな多岐にわたっているんですけれども、そういったことを並列的に取り組むということも非常に難しい状況かなと思いますので、この内容はやはり一つ一つ取り組んでいかなければならないことというふうには認識しておりますけれども、そのようなことで趣旨採択したいと思います。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

請願４号は採択すべきものと決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 賛成者なしであります。

続いて、請願４号は趣旨採択すべきものと決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 賛成少数であります。よって、請願第４号は採択、趣旨採択共に賛成少数により不採択すべきものと決しました。

これより陳情審査に入りますので、陳情と関係のない職員については自席待機といたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 御異議ありませんので、陳情と関係のない職員については自席待機といたします。

引き続き、会議を進めます。

初めに、陳情第９号 医療現場の危機打開に向けた財政支援を求める意見書の提出に関する陳情を議題といたします。

本陳情について、当局より状況等で説明できることがあれば、お願いいたします。

塚本部長。

○健康福祉部長（塚本由佳君） 特にございません。

終わります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 陳情でありますので、直ちに質疑に入りますが、

当局は質疑に対して、分かる範囲でお答えいただきたいと思います。

質疑のある方は挙手をお願いします。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 本市は、こういった医療現場についてですけども、大きな病院もあって、個人病院とか休日診療などもあるんですけども、ここにあるようなそういう、医師不足だったりとか、看護師不足とか、そういう人材不足みたいな、そういったことというのは現状としてあるんですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 答弁をお願いします。

塚本部長。

○健康福祉部長（塚本由佳君） 市内には、委員おっしゃるとおり、公立ありませんで、大きいのは藤田の病院になるかと思いますが、医師不足、看護師不足につきましては、それぞれの病院で対応していただいているという認識でございます。

終わります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 いろんな、個人病院も含めて対応していると思うんですけど、そういうことでちょっと経営が厳しいとか難しいとか、そういう声というのは市のほうに届いているのか、あるのかどうかなんですけど、ありますか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 特には届いておりません。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手をお願いします。

服部委員。

○服部龍一委員 陳情第9号、先ほどの請願第4号と同様の理由により、不採択といたします。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 私はこの第9号は趣旨採択です。

ここにあるように、そういった医療現場で、人材不足とか経営難とか、そういうことであれば一定の財政支援は必要かなというふうに思うんですけども、ただ、やはりそういつ

た、全国一律でそういう病院の経営支援とか医療現場の財政支援ってなると、非常に財政負担も厳しいですし、難しいところかなというふうに思いますので、こういった内容、メッセージについては非常に重要な点かなと受け止めて、趣旨採択したいと思います。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

陳情第9号は採択すべきものと決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 賛成者なしであります。

続いて、陳情第9号は趣旨採択すべきものと決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 賛成少数であります。よって、陳情第9号は採択、趣旨採択共、賛成少数により不採択すべきものと決しました。

続いて、陳情第10号 保育士・学童保育支援員の処遇改善に関する陳情を議題といたします。

本陳情について、当局より状況等で説明できることがあれば、お願いいたします。

塚本部長。

○健康福祉部長（塚本由佳君） 特にございません。

終わります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 陳情でありますので、直ちに質疑に入りますが、当局は質疑に対して、分かる範囲でお答えいただきたいと思います。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 この陳情の真ん中よりちょっと下の辺りに、というか真ん中辺りもか、定員を超えた過密な運営が常態化ということがあります。これ、特に学童保育になるのかな、待機児童の発生やって書いてある、本市でもそういった状況、あるいはそういうふうな状況になりそうなことというのはあるのかどうか、お尋ねしたいと思います。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 本市においても、一部の児童クラブにおいては、定員よりも現員の数が多いところがございますが、実際のところ、全員が必ず児童クラブのほうに通っているわけではないので、現時点では問題はないというふうに考えております。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、保育園のほうは、これも、ここにもありますけど、保育園現場では保育士の長時間労働やサービス残業が常態化というふうにあるんですけども、市の保育士の常勤の方の残業時間とかがどのぐらいあるかって分かりますか。あと、民間の保育園のほうの残業時間とか長時間労働の状況なんかは、把握はされているんでしょうか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 公立については時間外は把握しております。今、数字は持っておりませんので、ちょっと回答できません。民間については、現在把握しておりません。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 民間のほうは聞き取ってもないというような状況なんですかね。

あと、公立のほうは、およそでもいいんですけども、今回、長時間の関わりの処遇改善に関わる陳情ですけども、およそ大体どれぐらいかとか、そういったところも分かりませんか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 必要な時間外はしていただいているというふうには認識しておりますが、月45時間を超えるような時間外になっているという認識はございません。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 民間のほうは聞き取りとか、把握するすべがないような状況なんですかね。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 答弁願います。

小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 具体的に時間外について、聞き取りしている状況はございません。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 塚本部長。

○健康福祉部長（塚本由佳君） 公立園における保育士の残業でございますが、ある月でお答えさせていただきますと、園で二、三時間、お1人当たりそれぐらいはされるかなという形でございます。

終わります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手をお願いします。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 陳情10号は私は賛成、採択したいと思います。

やはり保育士不足等々、あと学童保育の支援員等の不足、全国的に非常に顕著であって、やはりそういった子育て支援の観点から、そういった待機児童や学童保育の拡充というのは非常に緊急性、重要性が高いことかなというふうに思っております。

人材確保を推進するために、そういった制度的な支援だったりとかを国主導で整備していくということは、やはり市としてのそういった子育て支援とか少子化対策にも直結しますし、将来世代への投資として非常に必要なことではないかなと思いますので、この意見書を国に提出することには大いに意義があるかと思いますので、採択したいと思います。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

服部委員。

○服部龍一委員 陳情第10号、こちらも国のほうで既に令和5年12月に取りまとめましたこども未来戦略、及び令和6年12月の保育政策の新たな方向性などに基づいて保育料の拡大から質の向上へと転換し、保育士等の配置の改善や処遇改善等を進められております。

よって、不採択といたします。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

陳情第10号は採択すべきものと決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 賛成者少数であります。よって、陳情第10号は賛成少数により不採択すべきものと決しました。

続いて、陳情第11号 介護・障害福祉分野における処遇改善と公的支援の強化を求める意見書の提出に関する陳情を議題といたします。

本陳情については、当局より状況等で説明できることがあれば、お願いします。

塚本部長。

○健康福祉部長（塚本由佳君） 特にございません。

終わります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 陳情でありますので直ちに質疑に入りますが、当局は質疑に対して、分かる範囲でお答えいただきたいと思います。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 こちらも介護職の処遇改善ということなんですけども、市内の介護事業所の残業時間とか離職率、あるいは有給の取得率等、そういった労働環境というのは把握はできているのでしょうか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 把握できておりません。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 そういう何か把握するすべというのは何も無いような状態なんですか。市が一応設置だったりとかの指導監督というか、管理になっているかなと思うんですけども、そういうのは全く把握できるすべはないんですか。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 介護事業所について申し上げますと、県指定、市指定、それぞれあります。市の指定については、もちろん実地指導等で、介護サービスの内容ですとか、そういったことに対しては監査をするとか、指導する対象とはなっております。例えばその中で、重大な例えば労働基準法違反みたいなものがあれば対処をするとか、そういった一般的な法令に遵守の部分で乖離があるものについては指導するというような立てつけにはなっておりますので、その中でタイムカードだとか、そういったことを提出させるということは通常あり得るということにはなっておりますが、それを横串でというか、毎年この事業所とこの事業所とこの事業所がというような捉え方はしておりません。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手をお願いいたします。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 11号ですけれども、これは採択したいと思います。

やはり介護、障がい福祉の分野の人材不足が非常にやっぱり昨今の深刻でありますので、現場の離職の防止という観点から、高齢者とか障がい者の生活保障に直結するような重要性が高いものですので、議会から国への意見書提出、これは非常に重要なことかなと思いますので、採択でいきたいと思います。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

服部委員。

○服部龍一委員 先ほどの陳情第9号と同様の理由により、不採択といたします。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

陳情第11号は、採択すべきものと決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 賛成少数であります。よって、陳情第11号は賛成少数により不採択すべきものと決しました。

続いて陳情第12号 安全・安心の医療・介護提供体制を守るため、全てのケア労働者の処遇改善につなげる報酬10%以上の引き上げを求める陳情を議題といたします。

本陳情について、当局より状況等で説明できることがあれば、お願いいたします。

塚本部長。

○健康福祉部長（塚本由佳君） 特にございません。

終わります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 陳情でありますので、直ちに質疑に入りますが、当局は質疑に対して、分かる範囲でお答えいただきたいと思います。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手をお願いします。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 陳情第12号は採択です。

こういったケア労働者に対しての処遇改善、人員配置の改善というのは必要なことかと思えます。物価高騰等もあり、現場が非常に疲弊しているような状態であると思えますので、そういったことも必要かなと。

ただ、懸念点としては、こういったケア労働者だけではなくて、先ほどの教育、福祉、

それから保育等も同時に引き上げていく必要があるかなと思いますので、他の陳情と関連して処遇改善が必要と考えておりますので、意見書提出は採択したいと思います。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

服部委員。

○服部龍一委員 陳情第12号、こちらも不採択といたします。先ほどの陳情第9号と同様の理由です。

以上です。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

陳情第12号は採択すべきものと決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 賛成少数であります。よって、陳情第12号は賛成少数により不採択すべきものと決しました。

続いて、陳情第13号 夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める陳情を議題といたします。

本陳情について、当局より状況等で説明することがあれば、お願いいたします。

塚本部長。

○健康福祉部長（塚本由佳君） 特にございません。

終わります。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 陳情でありますので、直ちに質疑に入りますが、当局は質疑に対して、分かる範囲でお答えいただきたいと思います。

質疑のある方は挙手願います。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手をお願いします。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 13号も採択したいと思います。

そういった医療・介護の処遇改善等、労働環境の整備というのは必要だと思います。

1点、公立とか公的な病院の拡充強化というところは少し、非常に財政負担も伴うのでちょっと気になるところはあるんですけども、こういった非常に重要な夜勤勤務の規制だったりとか、増員だったりとかは非常に必要な部分が多いですので、採択でいきたいと思

う。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

服部委員。

○服部龍一委員 陳情第13号、こちらにも不採択の立場で討論いたします。

こちらにも国のほうで、国民の安心につながる持続的な医療・介護体制の実現に向けて、医療・介護・福祉に従事する方々の地域の上昇、並びに病院や介護施設等の経営の安定化、感染症対策をはじめ、地域の公衆衛生体制の確立などに取り組んでいくという方針でありますので、不採択といたします。

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

陳情第13号は採択すべきものと決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） 賛成少数であります。よって、陳情第13号は賛成少数により不採択すべきものと決しました。

以上で本委員会に付託されました案件の審査は終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に一任願えますでしょうか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（岡島ゆみこ議員） ありがとうございます。

委員会報告書については、例に従い提出させていただきます。

長時間にわたり御審査、御苦労さまでした。これにて健康福祉委員会を閉会いたします。

午前 11 時 52 分閉会

豊明市議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する。

健康福祉委員会

委員長